

報道関係各位

平成28年1月15日

国立大学法人 東京医科歯科大学

東京医科歯科大学はオークランド大学とDOHaD(成人病の発達期起源説)研究に関する共同セミナーを日本学術振興会二国間交流事業でニュージーランドにて開催

【ポイント】

- ・ DOHaD (Developmental Origins of Health and Disease) は、大人になってからの健康や生活習慣病のような成人病の起源が胎児期から乳児期の発達期にあるという考え方です。この分子メカニズムが解明されることにより、発達期における早期介入による成人病に対する先制医療の開発が期待されます。
- ・ 日本学術振興会の二国間交流事業により、DOHaD 研究の世界的拠点であるニュージーランドのオークランド大学リギンズ研究所と関連領域において優れた実績を有する日本の研究者が東京医科歯科大学を中核として協力関係を築くこととなりました。
- ・ 共同セミナーの開催と共同研究の推進により、DOHaD 研究が飛躍的に進展することが期待されます。

【概要】

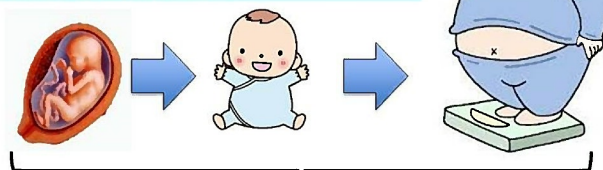
- ・ 2016年2月2日～3日の共同セミナーに日本側14名の研究者とニュージーランド17名の研究者が参加します。DOHaD に関する実験動物を用いた基礎研究からヒトのコホート研究まで幅広く意見交換を行い、将来、両国間の共同研究を推進します。
- ・ 在オークランド日本総領事も出席し、両国間の学術交流が一層深まることが期待されます。

【セミナー開催の背景と目的】

- ・ DOHaD は、大人になってからの健康や成人病の起源が胎児期から乳児期の発達期にあるという考え方であり、ヒトのコホート研究(特定集団の健康状態と生活環境・習慣の長期的な追跡調査)により提唱された概念です。発達期における早期介入による成人病に対する先制医療の開発は、未曾有の少子高齢化社会を迎えているわが国において労働可能人口の確保や医

DOHaDの概念と先制医療

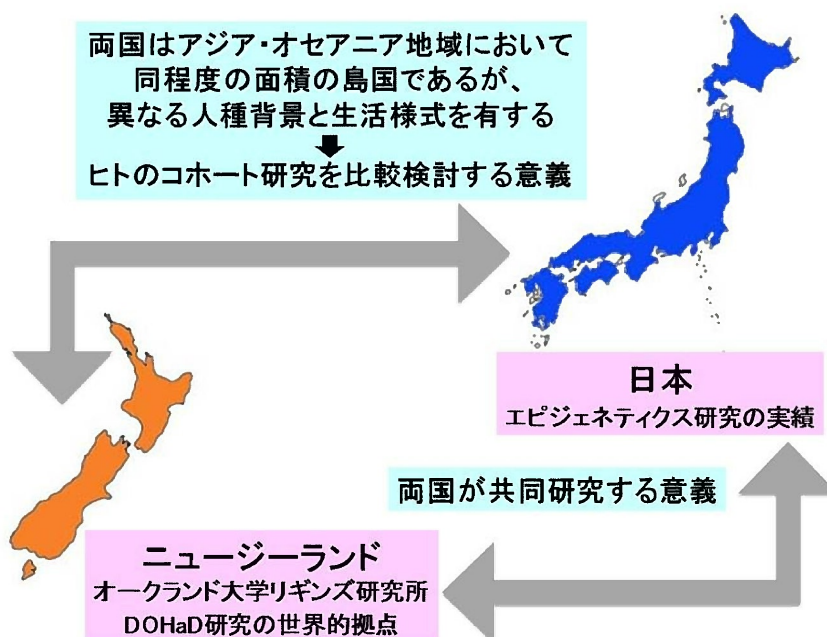
DOHaDの概念:大人になってからの健康や成人病の起源が胎児期から乳幼児の発達期にある



発達期における早期介入により成人病の発症を予防する「先制医療」の開発が期待されます

療費の削減など将来の国民の健康と安定した社会づくりに貢献することが期待されています。しかしながら、わが国では、DOHaD の概念が十分に認識されていないこともあり、先制医療の具体的な戦略は十分に議論されていません。

- ・ ニュージーランドのオークランド大学リギンズ研究所は世界で最も早く DOHaD 研究に取り組んできた研究機関の一つです。一方、DOHaD の分子メカニズムとして遺伝子の後天的修飾(エピジェネティクス)が注目されています。わが国にはエピジェネティクス研究の優れた実績がありますが、DOHaD に関するヒトのコホート研究は十分ではありません。両国の研究協力により DOHaD 研究が飛躍的に進展することが期待されます。
- ・ ニュージーランドと日本はともに環太平洋に位置する隔絶された島国です。人種的背景、文化的背景、生活様式が異なるニュージーランドと日本のヒトのコホート研究を比較検討することにより、人種や生活習慣を越えた DOHaD に関する普遍的な事象が明らかになります。



【セミナー名称】

ニュージーランド・日本共同セミナー： DOHaD エピジェネティクスとコホート研究
New Zealand -Japan Joint Seminar for DOHaD Epigenetic & Cohort Research

【開催日程】

2016年2月2日(火)～3日(水)

【開催場所】

ニュージーランド、オークランド大学リギンズ研究所

【内容】

共同セミナーには日本側14名の研究者とニュージーランド17名の研究者が参加し、妊婦の栄養状態や生活習慣が次世代の将来の健康に大きな影響をもたらす可能性を議論します。実験動物を用いた基礎研究からヒトのコホート研究まで幅広く意見交換を行い、両国の共同研究の具体的な進め方を議論します。

【今後の展開】

共同セミナーにより今後、1)DOHaD の分子メカニズムの解明、2)両国のヒトのコホート研究の比較検討、3)

DOHaD に基づく青少年教育プログラムの共同開発などにおいて大きな進展が見込まれます。DOHaD の概念が社会あるいは国民全体に広く周知され、妊娠期から授乳期の母体の栄養状態や生活習慣の適切な管理に関する啓発が進み、胎児期から乳児期の発達期における早期介入により生活習慣病などの成人病の発症を予防する「先制医療」の開発が期待されます。共同セミナーの詳細は、本プレスリリースあるいは日本 DOHaD 研究会ホームページ上に公開され、DOHaD 研究を通してニュージーランドと日本の研究協力の推進や研究ネットワークの構築とともに二国間の親睦・交流促進が期待されます。

【問い合わせ先】

<セミナーに関すること>

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科

分子内分泌代謝学分野 小川 佳宏(オガワ ヨシヒロ)

TEL:03-5803- 5966 FAX:03-5803- 0261

E-mail:ogawa.mem@tmd.ac.jp

<報道に関すること>

東京医科歯科大学 広報部広報課

〒113-8510 東京都文京区湯島 1-5-45

TEL:03-5803-5011 FAX:03-5803-0272

E-mail:kouhou.adm@tmd.ac.jp